

平成28年度第2回平塚市母子保健事業推進連絡会会議次第

日 時 平成29年 3月23日(木)  
午後1時30分から午後3時まで  
会 場 平塚市保健センター3階会議室1

1 開会

2 議題

(1) 平成29年度事業(案)について

(2) 平塚市子育て世代包括支援センターについて

(3) 平成29年度母子保健事業推進連絡会の実施について

(4) その他

3 閉会

事業名	平成29年度(案)
母子保健事業推進連絡会	年1回
母子健康手帳の交付	「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールームはぐくみ」を開設し、妊娠届出時に全妊婦に対して個別面接を行い、支援計画を作成する
妊婦健康診査	公費助成 14回 公費助成額 65,000円
4か月児健康診査	委託医療機関で実施 健康課への依頼による事後フォロー 未受診者訪問等
8～10か月児健康診査	
1歳6か月児健康診査	年36回 事後フォロー事業、未受診者訪問等
3歳児健康診査	年36回 事後フォロー事業、未受診者訪問等
2歳児歯科健康診査	年26回 (29年7月、30年2月は月3回実施)
乳幼児ケア	年12回
幼児健康診査事後フォロー教室	1歳6か月児 年48回 3歳児 年24回
育児相談	年36回
7か月児相談	年36回 (ブックスタートの同時開催を継続実施)
インターネット離乳食相談	随時
母親父親教室	3日間で実施 <内容> ・1日目：生活習慣病予防について追加 ・2日目：前年度と同様 ・3日目：父親の参加を促し、夫婦2人で取り組む内容を追加 <回数> ・1日目：年6回(土曜開催4回) ・2日目：年9回 ・3日目：年9回(土曜開催6回)
祖父母教室	・育児・父母のサポートのための教育、実習 (年4回開催) ・歯科は歯っぴい はみがき教室で資料を配布 ・栄養は希望保育園で講話もしくは資料を配布

平成28年度第2回平塚市母子保健事業推進連絡会資料

事業名	平成29年度(案)
離乳食教室	5、6か月児:(年間12回) 7、8か月児:(年間12回) 9か月~1歳6か月児:(年間12回) ダイジェスト版:(年間6回土曜日)
むし歯予防教室	歯っぴい はみがき教室 8か月~1歳0か月 準備期編:(年間10回) 1歳3か月~1歳6か月 イヤイヤ克服編:(年間6回) 1歳8か月~1歳10か月 ステップアップ編:(年間4回)
貧血予防教室	離乳食教室5、6か月児に来場している母親対象に実施
親子朝ごはんクッキング教室	バランスの良い食事、調理の楽しさを未就学児とその保護者で体験する教室:年5回
妊産婦訪問	随時
新生児訪問	随時
未熟児訪問	随時
乳幼児訪問	随時
養育支援家庭訪問事業	・専門職による保健指導は随時実施 ・ヘルパー派遣については2時間×12回×5件
乳児家庭全戸訪問事業	全数訪問(100%)を目標に継続して実施
子どもの生活習慣病 予防対策事業	委員会開催:2回 5歳児肥満状況調査:1回 子どもの生活習慣病予防相談:1回 巡回教室:依頼のあった園 *5歳児生活実態調査:1回 受診のすすめ、判定会 児童健康教室:1回
永久歯萌出期歯科保健事業	巡回教室 依頼のあった園 前年度と同様
新婚教室事業	・婚姻届をされた新婚対象にパンフレットを配布 (市民課へ依頼) *ホームページにて情報提供
父親のための 育児教室事業	・父子育児手帳の配布 母子手帳発行時、転入者に対し乳児全戸訪問時に配布
思春期対策連絡調整事業	・思春期対策連絡会を年1回開催 ・依頼のあった学校(高校、中学校、養護学校)で教育実施
予防接種事業	前年度と同様

平成29年3月23日

## 平塚市子育て世代包括支援センター 「ひらつかネウボラルーム はぐくみ」が4月3日にオープン

妊娠期から出産、子育て期までの、切れ目のない支援を目的に、保健師や保育士などの専門職員を配置し、相談や情報提供、支援へつなぐための窓口となる、子育て世代包括支援センター「ひらつかネウボラルーム はぐくみ」を4月3日、保健センター3階にオープンします。

また、出産した市民の方には、市長からのお祝いメッセージカードをお渡しします。

### 主な業務

- ・母子健康手帳の交付（妊娠届出書の受理）  
病院で妊娠の診断を受け、妊娠届出書を「はぐくみ」に提出した方に、母子健康手帳と、妊婦健診補助券等を交付します。交付場所は平成29年4月3日以降、「はぐくみ」に一本化します。お待たせしないよう事前予約制とします。
- ・すべての妊婦と個別面接による不安解消、切れ目のない支援を実施  
母子健康手帳を交付する際に、すべての妊婦と面接をし、健康状態や家庭の状況、支援者の有無などを確認します。面接により支援が必要な方を把握することで、出産や育児に関する適切なアドバイスや切れ目のない支援により、様々な不安解消などに繋がります。
- ・ネットワーク体制による迅速・継続的な支援  
妊娠から子育てに関する様々な不安や悩みに保健師や助産師、保育士などの専門職員が必要なアドバイスや情報提供をします。ケースによっては、健康課内の地区担当保健師や庁内関係課、関係機関とのネットワーク体制で迅速・継続的な支援に繋がっていきます。
- ・市長からのお祝いメッセージカード  
出産した市民の方に、市長からのお祝いメッセージカードをお渡しします。

### 概要

名称：平塚市子育て世代包括支援センター

（愛称）“ひらつかネウボラルーム はぐくみ”

「ネウボラ」とはフィンランド語で「相談やアドバイスの場」という意味です。

開設日時：平成29年4月3日（月）午前8時30分

場所：平塚市保健センター3階（平塚市東豊田448-3）

電話：（直通）0463-59-9570、0463-59-9571

3月31日までは健康課（55-2111）へお問い合わせください。

ファクス：0463-55-2139（健康課兼用）

電子メール：neuvola@city.hiratsuka.kanagawa.jp

窓口開設時間：月～金（土・日・祝日、年末年始を除く）午前8時30分～午後5時